

# シリーズ 下水道探訪

東京の足元を流れる下水道は、様々な顔を持っています。  
ここでは、下水道に関するいろいろな施設をシリーズでご案内していきたいと思います。

なお、写真で紹介いたします施設等は、工事や作業中に撮影したもので、普段は撮影ができません。

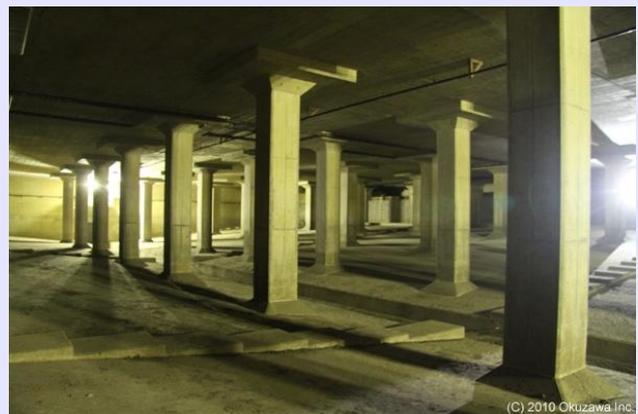
第一回は、パルテノン神殿の柱を思わせる、南元町雨水調整池を紹介させていただきます。  
この施設は、集中豪雨等により下水道管内の水位が急上昇した時、雨水を一時的に貯留しておくためのものです。貯留された雨水は、下水道管内の水位が下がると下水道管に戻される仕組みになっています。



▼大雨の時は左側壁の上部から雨水が流れ込みます。 ▼直径2.6mの穴からも雨水が流れ込みます。



▼晴天時は静寂に包まれ、光の方向によって様々な表情を見せます。



◀ 一時的に溜めた雨水は、自然に下水道管に戻っていく仕組みになっています。最後まで残った雨水はこの道を通してポンプでくみ上げ排水されます。

調整池は、いつでも雨水を貯められるよう管理され、みなさまの住むまちを見守っています。

▲ [一覧へ戻る](#)